

臭気について

○臭気の測定方法【大気汚染防止法・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例】

- ・判定試験には、3袋のにおい袋のうち1袋に採取してきたにおいを入れ、残りの2袋は無臭の臭い袋を用意します。
- ・においの付いた袋は原則10倍希釈から始めます。
- ・臭気判定士は、3袋のにおい袋の判定を行い、においのある袋を選んだ正解数から平均正解率を求めます。
- ・試料の判定を1人3回行い、6名で判定を行った場合は、6名×3回の18回の判定結果で平均正解率を求めます。
- ・当初希釈倍数の平均正解率が0.58未満の場合、臭気指数は10未満となります。(18回の場合は、正解数10回以下)
- ・平均正解率が0.58以上の場合には、判定した希釈倍数から10倍希釈して2回目の判定試験を行います。
(18回の場合は、正解数11回以上)
- ・判定試験は2回で終了します。
- ・1回目の平均正解数(右の例では0.72)と2回目の平均正解数(右の例では、0.22)を用いて、臭気指数を算出します。
- ・右の絵の場合は、臭気指数13となります、

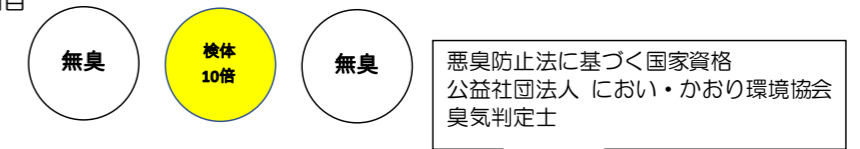
○臭気のみやす

以下の表にある臭気指数に対する、「におい・かおり」になります。例えば、臭気指数45のみやすは「にんにくを炒めている時」となっていますので、その臭いを採取し、判定試験を行うと、計算により臭気指数45と算出されます。また、10未満と算出された場合は、「梅の花」のにおいよりも、弱いにおいとなります。

なお、表の「におい・かおり」は、良い悪いではなく、強さを表しています。

臭気指数	におい・かおり	においの採取場所等
10	梅の花	花の直近
15	デパートの化粧品売り場	化粧品売り場(3地点)
20	トイレの芳香剤	芳香剤を置いた個室トイレ室内
25	しょうゆ	しょうゆを入れたピーカーの上
30	ガソリンを給油している時	給油中の車の給油口の近く
35	コーヒー	レギュラーコーヒーの液面上
45	にんにくを炒めている時	にんにく1欠片をスライスして炒めているフライパンの上の顔の付近

●1回目



○それぞれの検体の臭いを嗅ぐ



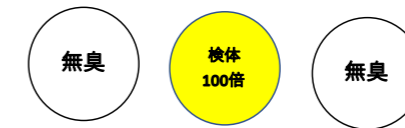
○正解した数

	A	B	C	D	E	F	合計
1回	○	○	○	○	○	○	6
2回	○	○	○	○	×	○	5
3回	○	×	○	×	×	×	2
正解数	3	2	3	2	1	2	13

回数	正解数	平均正解率
18	13	0.72



●2回目



○それぞれの検体の臭いを嗅ぐ



○正解した数

	A	B	C	D	E	F	合計
1回	○	×	×	×	×	○	2
2回	×	×	×	×	○	×	1
3回	×	×	○	×	×	×	1
正解数	1	0	1	0	1	1	4

回数	正解数	平均正解率
18	4	0.22



2回の判定試験による臭気指数13となります。
(矢印の正解平均値から算出)